

日本法科学技術学会誌執筆要領

1. 投稿原稿は、和文、英文いずれでもよい。和文は、A4判用紙に縦長横書きで作成する。英文は、A4判用紙にダブルスペースで印刷する。
2. 原稿第1頁（表紙）の最上欄には、希望審査分野（法生物学、法薬毒物学、法化学、法工学、法文書、法心理学、現場鑑識科学）を明記し、ついで原著、技術報告、速報、ノート、事例報告、総説の別を記載する。表題・著者名・所属機関およびその所在地を和英両文で併記する。論文内容を端的に表現する **Running Head**（和文は30字以内、英文は60字以内）を記入する。また、校正刷りの宛先、別刷の部数を朱書する。頁番号は、表紙を含めて1頁から始めて、英文抄録、英文抄録の和訳、本文、表、図まで通し番号とする。また、投稿原稿の各頁に行番号を表示する。
3. 原稿第2頁は、英文抄録（原著、総説および技術報告300語以内、速報、ノートおよび事例報告200語以内）キーワード5個以内を **Abstract** と **Key words** : という見出し語を付けて記載する。
4. 本文の中で、章・節の見出しは中揃えとし、小見出しなどは左揃えとする。章・節の見出しの上下は1行あける。本文は、原則として緒言（Introduction）、材料および方法（Materials and Methods）、結果（Results）、考察（Discussion）、謝辞（Acknowledgment）、文献（References）の順序とし、その後表（Tables）および図（Figures）を付ける。ただし、速報および事例報告はこの限りではない。
5. 漢字の使用については、原則的に常用漢字を用いることとする。なお、専門用語に類するものについてはその限りではない。ただし、接続語、副詞、助詞には原則として「ひらがな書き」を用いる。

例：あるいは、および、さらに、したがって、ならびに、また（は）、およそ、すでに、

ほとんど、わずかに、…くらい、…など、…ほど

6. 数字は、原則としてアラビア数字とし、単位記号は原則として国際単位系（SI）を用いることが望ましいが、国際的に慣用されている記号、符号を用いることとする。

〔例〕 長さ： 10^{-9} m は nm

体積： 10^{-6} m³ は ml または cm³

時間：h, min

濃度：1 l 中の mol 数は M

7. 数式は、原則として、 $\frac{a}{b}$, $\frac{a+b}{c+d}$ のように記し、本文中に出てくる場合は、a/b, (a+b)/(c+d) のように1行に記載することとする。
8. 本文中に文献を引用する際には姓のみとし、著者が2名以内のときは、2名の名を「と」または「and」でつなぎ、3名以上のときは、最初の1人の名の後ろに「ら」または「et al.」を付ける。文献の参照は番号で示し、上付きの小数字で表し、その最後に小さい）を付ける。例³⁾,^{3,7)},³⁻⁸⁾。
9. 文献は、引用順に番号を付け、引用の様式は、次のとおりとする。

9.1. 雑誌掲載の論文を引用する場合

著者、論文タイトル、雑誌名（英名は斜体）、巻（太字体）、開始ページ-終了ページ、発行年。欧文誌名は、国際規格（ISO 4）およびそれに準拠して ISSN 国際センターが作成する目録マニュアルと略語表（List of Title Word Abbreviations）にしたがって略記する。同一名称を持つ複数の雑誌は、区別として雑誌名の後に出版地名などを括弧に入れて補記する。和文雑誌名は省略しない。

例 1) Edelman G. J., Gaston E., Van Leeuwen T. G., Cullen P. J. and Aalders M. C. G., Hyperspectral imaging for non-contact analysis of forensic traces. *Forensic Sci. Int.*, **223**, 28-39, 2012.

例 2) Asamura H., Takayanagi K., Chunyan L.,

Ota M. and Fukushima H., The judgement of a gunshot wound with severe post-mortem changes. *Leg. Med. (Tokyo)*, **1**, 185–187, 1999.

- 例 3) 藤田悟郎, 横田賀英子, 渡邊和美, 鈴木護, 和智妙子, 大塚祐輔, 倉石宏樹, 実務のための量的な方法による事件リンク分析. 日本法科学技術学会誌, **16**, 91–104, 2011.

9.2. 書籍を引用する場合

著者, 章タイトル, 書籍の名称(英名は斜体). 第○版(英名は斜体), pp. 開始ページ–終了ページ, 発行者, 発行者の所在都市名, 発行年.

- 例 1) Butler J. M., STR Genotyping and Data Interpretation, in: *Fundamentals of Forensic DNA typing*. pp. 175–204, Academic Press, San Diego, 2010.

- 例 2) Morton S. E. and Beal B. L., Alterations in documents, in: Kelly J. S. and Lindblom B. S. (Eds.) *Scientific Examination of Questioned Documents. 2nd ed.*, pp. 319–336, CRC Press Taylor and Francis Group, Boca Raton, 2006.

- 例 3) 金子毅, 油類, 高取健彦(編) 捜査のための法科学 第二部〈法工学・法化学〉. pp. 429–444, 令文社, 東京, 2005.

9.3. その他(特許公報, JIS, Web サイトなど)を引用する場合

「特許公開番号, 発明の名称.」

- 例 1) 特開 2003–131343, 熱現像感光材料.

「特許番号, 発明の名称.」

- 例 2) 特許 4021677, 半導体集積回路.

「規格番号, 規格名称, 制定年または改正年.」

- 例 3) JIS D 1060, 乗用車の前面・後面の衝突試験方法, 1982.

- 例 4) ASTM E2154–01, Standard Practice for Separation and Concentration of Ignitable Liquid Residues from Fire Debris Samples

by Passive Headspace Concentration with Solid Phase Microextraction (SPME), 2001.

「サイト管理者, ページタイトル, [URL], アクセス年月日.」

- 例 5) Federal Bureau of Investigation, Evidence Control, available from [http://www.fbi.gov/about-us/lab/ecu], accessed Nov 15, 2012.

10. 表は, 1 頁に 1 つとし, 和英両論文ともに英文で記載する. 表には縦罫線を使用せず, 各語句の始めは, 原則として大文字とする. 脚注を要するときは, 表示の語句の右肩に a), b), c) を付記し, 表の下欄外にそれぞれの説明を記す.

11. 図(写真を含む)はそのまま製版, 印刷ができるものとする. 図は, 横幅 80 mm 以下, それでは小さすぎる場合は 170 mm 以下とする. 図は, 1 頁に 1 つとし, 図の下部には図の番号, 各図の表題および説明を英文で記載する.

12. 表, 図の挿入位置は, 本文の右欄外に指示し, また, 本文中に引用する表, 図は Table 1, Fig. 1 などと記載する.

13. 著者による論文チェックリスト(様式 1)に基づき, 投稿原稿が各項の内容を満たしているかなどのチェックを行い, 投稿時に本リストを原稿と共に提出すること. なお同リストについては, 審査結果を受けて作成した改訂原稿提出時にも提出すること.

平成 17 年 2 月 1 日改正(名称変更)

平成 22 年 1 月 31 日改正

平成 23 年 5 月 9 日改正

平成 24 年 7 月 2 日改正

平成 25 年 7 月 1 日改正

様式 1

論文チェックリスト

論文タイトル：

著者名：

以下の項目を確認して下さい。

【表紙，英文抄録】

- 審査分野，原稿種別が記載されていますか。
- 表題，著者名（共著者全員），所属機関および住所を日本語，英語で記載していますか。
- 英語著者名は，姓名ともに第一文字だけ大文字としていますか。
- 英語名の最後の共著者の前に **and** を記入していますか。
- Running head** を指定文字数内で記載していますか。
- 連絡先住所，〒，電話番号，FAX 番号，電子メールアドレス等を朱書きしていますか。
- 別刷りの部数を朱書きしていますか。
- 頁番号は，表紙を 1 頁とし，英文抄録，英文抄録の和訳，本文，表，図まで通し番号としていますか。
- 原稿には各頁の左余白に行番号（通し番号）が付記されていますか。
- Abstract**，*Key words*：の見出し語を付けて記載していますか。
- Key words*：3～5 個。名詞は単数形で記していますか。

【本文】

- 句読点：， _ _ で記していますか。
- 漢字の使用については，執筆要領を遵守していますか（常用漢字とひらがな書き）。
- 数字，数式の使用については，執筆要領を遵守していますか（単位記号，書体）。
- 本文中の文献引用や文献の参照については，執筆要領を遵守していますか。
- 英語論文は，ネイティブチェックがなされていますか。

【参考文献】

- 本文中に引用された文献がもれなく網羅されていますか。
- 複数の著者による文献は，全員の名前が記されていますか。
- 英語名の最後の共著者の前に **and** を記入していますか。
- 雑誌名の略記は適切ですか。
- 英文雑誌名は斜体，巻数は太字体になっていますか。
- 雑誌論文の頁は，000-000，単行本の頁は，pp. 000-000 と記されていますか。
- 各文献の年号の後にピリオドが記されていますか。
- 特許公報，JIS，Web サイトなどの引用は適切ですか。

【図表】

- 図 (Figure)：総数 点 カラー図版掲載希望の場合の図番号： (有料となります)
- 表 (Table)：総数 点
- 図表はそれぞれ別頁とし，執筆要領を遵守して作成していますか(英語表記，図の大きさ)。
- 本文にすべての図表を引用し，その挿入位置を本文右余白に指定していますか。
- 図版はすべて鮮明なものですか。
- 図版中の文字サイズは適切ですか。
- 図表英文タイトル文や脚注文の末尾にピリオドが記されていますか。

●倫理

- ヒトゲノム・遺伝子解析研究およびヒトを直接対象とする医学的，生物学的または心理学的研究にあたり，倫理審査委員会で研究を承認されていますか。

●引用許可

- 他の文献等から転写した図表は，著者あるいは出版元から書面で許可を得ていますか。

以上

平成 25 年 11 月 13 日改定